



R I 2 6 0 0 地区 諏訪グループ

会長 西澤賢二 幹事 宮坂陽子

例会 木曜日 PM12:30 例会場 ぎん月 事務所〒393-0033 長野県諏訪郡下諏訪町南高木 10616-88 TEL/0266-78-8755
<http://www.suwakorc.net> Email:suwakorc@suwakorc.net ウィーグリーの原稿送付先:pr@suwakorc.net

第 1607 回例会報告

令和 1 年 7 月 18 日 (木) 晴

会長挨拶

「技能実習制度の詳細」

会長 西澤賢二

3 回目のご挨拶です。今まで 2 回とも技能実習生の件についてお話してきましたが、もっと詳しく技能実習制度を説明していきたいと思えます。

国際貢献と国際協力の一環として 1981 年に技能研修生が帰国後その技術を母国で発揮させる目的で在留資格が創設されました。その後 1997 年に 1 年の研修・1 年の実習から最長 3 年に延長されたと記憶しています。

現在は 2010 年 7 月に出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき在留資格「技能実習」が設けられ、従来は研修とされた期間を技能実習 1 号、特定活動(技能実習)とされた期間を技能実習 2 号とし、技能習得期間のうち実務に従事する期間はすべて労働者として扱われる事に成りましたそのうち入国後 1 ヶ月は事前研修として日本語・日本の風習・ゴミ出しなどのルールの講習を行い団体管理型の場合は各企業へ配属します。企業からすると労働者として扱うのになぜ入国費用を企業が支払特別扱いするのだろうと疑問に感じる点も多々あります。

元々外国からの労働者に対して鎖国をしている日本の法律では仕方ない事かもしれませんが矛盾の多い法律です。海外からはこの制度は劣悪な強制労働の温床になっていると批判されていますしかし物は言いようで現在は人身売買撲滅のための最低基準を十分に満たしていないが満たすべく著しく努力している国家として分類されているようです。



幹事報告

【理事会報告】

1) 8 月の例会予定が承認されました。
 詳細は月末に発送される例会予定の FAX をご覧ください

| 月日 | 回数 | 内容 |
|--------|-------|---------------------------|
| 08月01日 | 1609回 | 納涼会(夜間・家族) |
| 08月08日 | 1610回 | 第34期決算報告会 |
| 08月15日 | 休会 | |
| 08月22日 | 1611回 | 児童養護施設つつじが丘学園 川瀬勝敏先生卓話 |
| 08月29日 | 1612回 | 会員卓話 萩田均会員 |

2) 8 月 11 日は諏訪湖クリーンまつりです
 例年の通り「湖上観察会」当クラブが提供します。集合は 7 時です。詳細は送付される FAX をご覧ください

【連絡事項】

1) 諏訪ロータリークラブのファックス番号が変わりました。
 新番号 0266-52-5577 です
 2) 諏訪市副市長 渡邊高秀様から副市長就任のあいさつをいただきました。

【受領文書】

1) コーディネーターニュース 7 月号 8 月号が届きました。回覧します

| ♪出席報告 | | ♪ニコニコBOX | | ♪今週のことば |
|-------|-------|----------|--------|---|
| 会員数 | 37 人 | 2 名 | 4,000 | 三村先生 本日は楽しみにしていました。よろしくお願ひします 西澤賢二 |
| 出席対象 | 36 人 | 累計 | 53,000 | |
| 出席者数 | 29 人 | 目標額 | 60 万円 | |
| 出席率 | 80.6% | 達成率 | 8.8% | |
| 前回修正 | 75.0% | | | |



【第1607回例会】

1607回例会は、前回好評だった 元下諏訪中学校三村昌弘校長先生による「八ヶ岳の自然と植物」からテーマを変えて「八ヶ岳の大崩壊」887年の八ヶ岳大崩壊の謎という卓話でした。多くの会員が初めて聞く話に興味津津で、久しぶりに居眠りの少ない例会でした

「八ヶ岳の大崩壊」～887年の八ヶ岳大崩壊の謎～



八ヶ岳は富士山よりも高かったという諏訪の伝説もある。これは有史以前の話であるが、現象としては残っています。

八ヶ岳についての研究は、臼田町（佐久市）出身の信州大学教育学部教授、火山地質学者の河内晋平先生がされておりまして。時代は平安時代にさかのぼります。八ヶ岳を挟んで諏訪地方の反対側の佐久地方の地形について、先生は究明したい2つの疑問を持っておりまして。

一つは、小海・南牧村方面に、海ではないのに小海、海尻、海ノ口という海がつく地名がはいっていること。もう一つは天狗岳・みどり池付近に凹地という、火口ではないのに穴が開いて緩やかな斜面になっていること。

扶桑略記（平安末期の仁和3年7月30日・西暦887年8月26日）には「信濃の国、大山頽崩し、巨河溢流す。六郡城蘆、地払いて漂流す。牛馬男女 流れて死丘と成す。」（信濃の国は、大きな山が崩れ、大きな河が氾濫した。六つの郡の街や家がすっかり流された。牛馬や人々が流され、その死体は丘を成した。）

河内晋平先生は、この災害の発生を流れた樹木の年輪を輪切りにして何時の事であるかを証明した。これは火砕流ではなく破砕流だった



私たちがほとんど知らない佐久側の八ヶ岳

いわれています。

ため証明が出来た。天狗岳と稲子岳の崩壊により千曲川を堰き止めて大きな湖が出来た(海という地名

が生まれた)のではないかと推論されている

なお、扶桑略記によれば、この突然の崩壊は、南海トラフ地震が西暦887年8月22日に起こっており、八ヶ岳の大崩壊はその4日後の8月26日に起こっていることが新しい研究で明らかになった。つまり、沿岸部の大地震が内陸部の八ヶ岳の大崩壊に繋がったのではないかと

(取材:宮澤クラブ会報委員長)

扶桑略記
信乃国
大山頽崩
六郡城蘆
牛馬男女

巨河溢流
地払漂流
流死丘成

仁和3年7月30日(西暦887年8月26日)
仁和4年5月8日(西暦888年6月20日)

35周年記念事業のスローガンが決まりました

理事会後開催された35周年実行委員会により、35周年記念事業のスローガンが下記の通り決まりました

天地同根、万物一体

天地を形成する宇宙の命すべてが同根で、自分と他人を分け隔てるものはなく一体で、相手の気持ちを図れる心こそ、もつべき心である (出典:碧巖録)